

SGS(粃米サイレージ)の製造・利用にかかる現地研修会を開催

輸入飼料高騰により畜産経営が厳しい中、県内の飼料生産組合のSGSの製造・利用の取組について、関係者間で技術に関する情報などを共有し、国産飼料の利用拡大に資することを目的に研修会を開催

○ 施策分類

草地・飼料（耕畜連携）

○ きっかけ・背景、課題の把握

コスト低減につながる淡路飼料生産組合のSGSの取組を県拠点HPで耕畜連携等の取組事例として紹介。しかし県内ではSGSの製造技術等を共有する取組が行われていなかった。このため、現場の意向を踏まえ県拠点が関係機関の協力を得て研修会を開催。

○ 取組の内容

研修会は、令和6年11月26日に2部構成で開催。1部の屋内研修では、兵庫県南淡路農業改良普及センター担当者から組合の取組概要について、SGSを導入した経緯や課題と対応策等を説明。2部の現場研修では、SGS製造現場において淡路飼料生産組合代表から製造工程の説明を受け、粉碎、加水作業等の製造工程を見学。当日は、畜産農家や耕種農家等34名が参加。参加者からは、SGSの効果、保管方法、製造等に関する質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われた。

○ 効果・成果、今後の方向性

参加者アンケートでは、「満足」と「やや満足」の回答計が95%と高評価であった。また、当日はマスコミの取材があり、TV、ラジオ、Webで研修会の模様が放送され、畜産生産現場のPRにつながった。引き続き、コスト低減の取組について情報を収集し、現場の課題解決につなげたい。

○屋内研修の様子



○現場研修の様子



体制図

